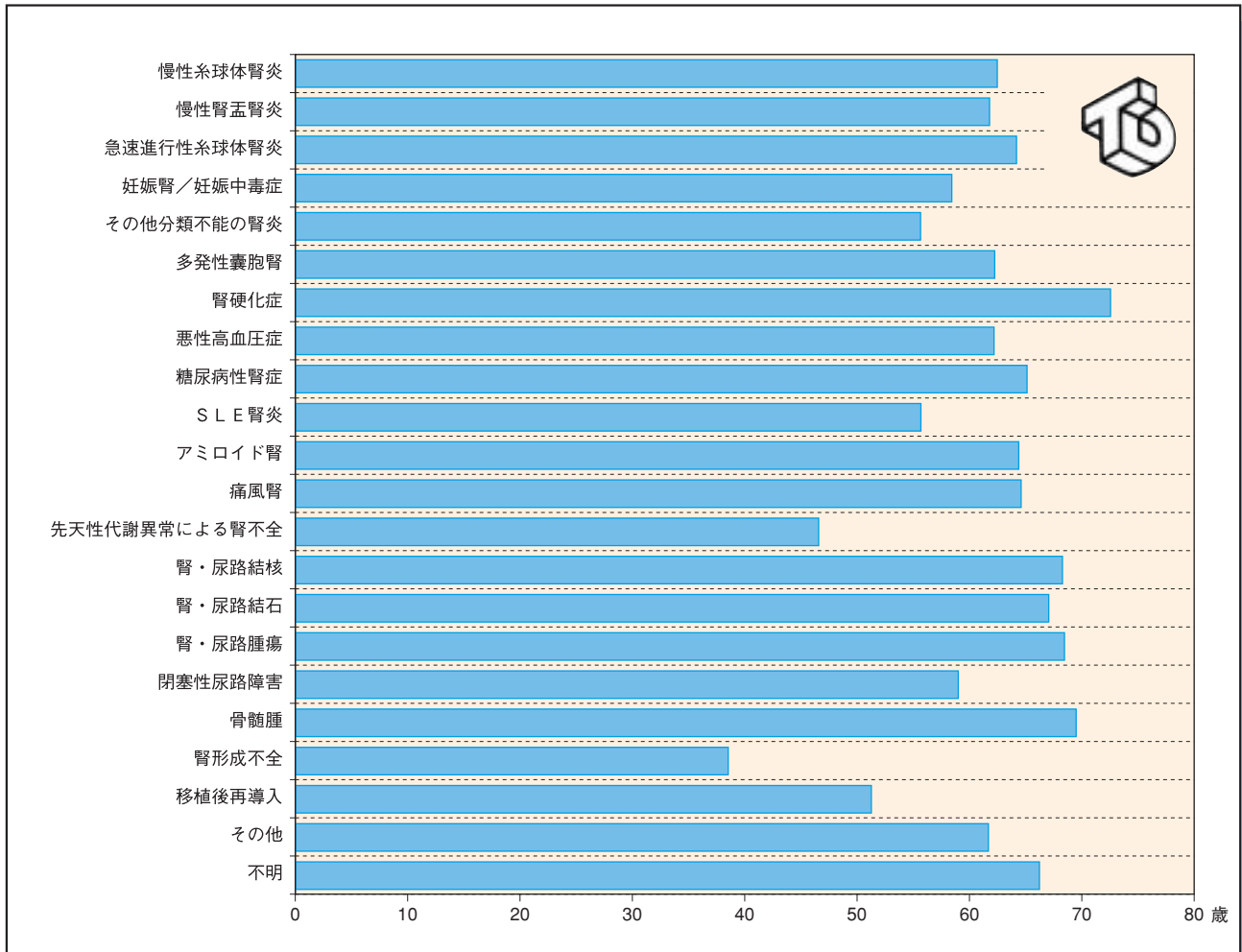


4) 年末患者の現状

(2) 年末患者の原疾患と平均年齢 (図表13)



原疾患	患者数 (%)	平均年齢	標準偏差
慢性糸球体腎炎	104,729 (43.6)	62.44	12.99
慢性腎盂腎炎	2,981 (1.2)	61.75	14.39
急速進行性糸球体腎炎	1,506 (0.6)	64.15	14.22
妊娠腎/妊娠中毒症	1,701 (0.7)	58.39	9.85
その他分類不能の腎炎	1,080 (0.4)	55.61	17.04
多発性嚢胞腎	8,031 (3.3)	62.21	10.83
腎硬化症	14,266 (5.9)	72.52	11.95
悪性高血圧症	1,780 (0.7)	62.15	14.06
糖尿病性腎症	75,322 (31.4)	65.09	10.87
SLE腎炎	2,125 (0.9)	55.64	13.45
アミロイド腎	450 (0.2)	64.35	11.64
痛風腎	1,199 (0.5)	64.56	11.34
先天性代謝異常による腎不全	228 (0.1)	46.54	17.42

原疾患	患者数 (%)	平均年齢	標準偏差
腎・尿路結核	418 (0.2)	68.24	10.00
腎・尿路結石	518 (0.2)	67.02	11.17
腎・尿路腫瘍	560 (0.2)	68.42	11.63
閉塞性尿路障害	649 (0.3)	58.97	18.63
骨髄腫	196 (0.1)	69.46	11.49
腎形成不全	488 (0.2)	38.49	19.06
移植後再導入	1,685 (0.7)	51.23	12.57
その他	4,200 (1.7)	61.65	16.31
不明	15,961 (6.6)	66.19	13.61
合計	240,073 (100.0)	63.88	12.82
記載なし	381	64.83	13.72
総計	240,454	63.88	12.82

数値右のカッコ内は列方向の合計に対する%です。

解説

年末患者の原疾患別人数と平均年齢

年末患者の原因疾患をみると、慢性糸球体腎炎によるものが43.6%とトップであり、糖尿病性腎症によるものは31.4%となり、全体の1/3に近づきつつあります。経年的にみても確実に糖尿病性腎症による比率が増加してきており、近い将来には同比率になる可能性があるかと推測されます。

年末の原因疾患別による平均年齢は疾患による差がありますが、いずれも平均年齢は高齢化しています。とくに腎硬化症は72.52歳と著しいことが示されます。全体の平均では63.88歳になります。